



松本市民生委員・児童委員協議会だより

第95号

令和7年11月30日

ふれあい

発行者 松本市双葉4番16号
松本市民生委員・児童委員協議会
会長 草深邦子

支えあう 住みよい社会 地域から ～一斉改選に向けて～

令和7年度
主任児童委員及び5専門部会の活動報告

退任される民生委員・児童委員及び主任児童委員の声

令和7年度 民生委員・児童委員
表彰者一覧 〈全国及び長野県〉

令和7年度 民生委員・児童委員
全国優良民生委員児童委員協議会表彰
(鎌田地区)

地区活動の紹介
(第三・松南・和田・田川・四賀・寿・城北・白板)

第26回長野県民生委員児童委員大会の紹介

編集後記

写真提供：松本城管理課

令和7年度主任児童委員会・5専門部会活動報告

主任児童委員会

委員長 赤井 幸子

6月、上田市「侍学園スクオーラ・今人上田校」を視察しました。

令和5年の統計では不登校35万人
引きこもり146万人ニート(15~34才)76万人といわれ、最近ではニートとは異なり家族以外の接点がなく、無業・未婚の20~59才の方(SNEP※スネップ)が156万人とのことでした。

生き方に悩み苦しむ若者や子どもたちの課題は見えづらく気づきにくい中、学園では年齢無制限で生徒を受け入れ、基本的な生きる力(精神的、経済的自立、自己決定自己選択が出来る)が身につくまで卒業を認めないという学園方針に強い覚悟を感じ、生徒に根気よく寄り添つて成長を見守る姿勢に感銘を受けました。

7月、「虐待を生む家庭の背景」と題して松本児童相談所所長の大宮さんをお迎えして全体研修会を行いました。虐待という重いテーマでしたが特別なことではなく誰

でも可能性があること、子育て不安の要因には家族の孤立、過去のトラウマや経済的不安定など複雑で、児童相談所は子育ての砦として家族に寄り添つていることがわかりました。初めての妊娠出産は不安が大きく、子どもの育ちが喜びにつながるような声掛けや支えが必要というお話しに、赤ちゃん訪問の心構えを再認識しました。

9月、「松本市子どもの権利相談室(こころの鈴)」に寄せられる相談内容の傾向と支援について

松本市子ども育成課長岡さんとこころの鈴室長の橋爪さんからお話を聞いていただきました。個人情報保護など人権についての意識が高まる中、松本市では子どもの権利に関する条例を平成25年に制定し、子どもが一人の人格者として、安心して自分らしく社会参加できるよう大人は支える立場にあること、またそういう街を目指すと定めました。条例を広く知らせると共に学び続ける事の大切さを確認しました。

改選にあたり委員活動を離れる方もおりますが、これからも地域

の子育て家庭の事情や心配の声に耳を傾けて、心に寄り添う活動を目標したいと思います。

児童福祉部会

部会長 内川 京子

今年は、バスでの視察研修ができないなかつたので講師の方に来てもらいスライドを見ながら説明を聞きました。

第1回目は「こんにちは赤ちゃん事業について」妊娠してから出産まで保健師さんと民生委員・児童委員の方が見守り続けることで、母親の気持ちが楽になつたとのことです。

第2回目は「ヤングケアラー引きこもりアクトリーチの現状について」現在は両親共働きの家が多く、核家族も増えたので子どもの居場所が少なくなつたのではないかも。もう少し多くの子どもが気楽に悩みや相談できる所が増えると良いと思いました。

第3回目は「児童養護施設と松本児童園の概要」民生児童委員の児童部員の研修で2回ほど児童園

を見学させてもらいました。どの施設も部屋の中がきちんとされていました。毎年の行事は職員さんと地域の人々が協働して行われています。3回の研修会がとてもためになりました。

社会福祉部会

部会長 藤原 富子

社会福祉部会は、今年3回の研修を実施しました。第1回目は、7月に「災害に強い地域を目指して ささえあいマップのすすめ」と題して、令和6年1月能登半島地震の災害地の住民の様子・災害への対策・地域力・ささえあいマップとは何か・長野県白馬神城断層地震・地震による死者ゼロ・正確に伝える事が出来た事が命を守る事につながった・茅野の土砂災害・近所連携・声掛けに救われた・確認が大切と言う事を学びました。

第2回目は、6月に「救命救急講習」を松本渚消防署の方2名により実技を交え、3時間行いました。出席者全員が普通救命講習修了証を頂きました。

第3回目は「地域共生について



高齢者福祉部会
部会長 上條 久子

高齢者福祉部会は、今年度2回の研修と1回の視察研修を計画いたしましたが、バスの確保ができず2回の座学研修に変更しました。

第1回研修は、5月に「傾聴について」社会福祉協議会西澤さんにお話しいただきました。三つの「聞く」・「訊く」・「聴く」を通じ、同情でなく共感が大切なことが大変なことなどの学びは、日頃民生委員の活動に大変必要な事柄でした。

第2回の研修は、5月に障がいを持つ若者が、音楽を通じて社会的自立を目指し結成された「楽団ケ・セラ」の演奏会を開催し、会員全員からすばらしい演奏だったとの感想を頂きました。その後、障がい

高齢者福祉部会は、今年度2回の研修と1回の視察研修を計画いたしましたが、バスの確保ができず2回の座学研修に変更しました。

第1回研修は、5月に「傾聴について」社会福祉協議会西澤さんにお話しいただきました。三つの「聞く」・「訊く」・「聴く」を通じ、同情でなく共感が大切なことが大変なことなどの学びは、日頃民生委員の活動に大変必要な事柄でした。

て「松本市福祉政策課の職員の方から、植草大学副学長の野澤和弘先生のビデオを見てグループ討論を行い最後に「ともいき研修」の修了証を頂きました。3回の研修は有意義な事が学べました。事務局の方、部会の皆様の御協力ありがとうございました。

研修は10月に「高齢者のための福祉サービスについて」を松本市高齢福祉課三井さんよりお話をいただきました。日々の活動にも、自分のためにも福祉サービスの知識は大変必要なことと興味深くお聞きしました。部会の皆様、社会福祉協議会の皆様のご協力にお礼申し上げます。

障がい者福祉部会

部会長 山田 克美

今年度は年3回の研修を企画しました。

第1回目は、5月に松本市の障がい者福祉制度について、松本市障がい福祉課の職員より説明していました。病についての理解を深め、障がいをお話しいただきました。三つの「聞く」・「訊く」・「聴く」を通じた。又、特別支援教育について、特別支援学校設置準備室職員より今後の展望について説明して頂きました。

第2回目は7月に障がいを持つ若者が、音楽を通じて社会的自立を目指し結成された「楽団ケ・セラ」の演奏会を開催し、会員全員からすばらしい演奏だったとの感想を頂きました。その後、障がい

者支援施設梓荘に移動し、施設の概要の説明を受け、施設内の見学を実施しました。

第3回

目は10月に精神障がい者の理解についての講義及び当人との話し合いを行ないました。

最後に各研修で講師をして頂いた松本市の職員、又社協事務局の皆様ありがとうございました。そして楽団ケ・セラの皆さん、すばらしい演奏・感動をありがとうございました！



樂団ケ・セラ演奏

廣報部会では、一斉改選にあたり、新任の民生委員・児童委員が活動を始める時に、参考になるようふれあい93号、94号、95号と統一テーマを決めて、役員、編集委員が一丸となつて取り組んで来ました。



研修:記事の書き方について

ました。廣報部会初の企画で、M Gプレス編集長を講師に「記事の書き方」について研修を受けました。さらに、アサカワ印刷と、文字数の確認、校正方法について、紹介」で35地区の紹介をしました。また、94号では、35地区民児協にアンケート調査を行い、新任の方への引き継ぎの留意点をまとめました。3回のふれあいを発行する中で、今後の廣報部会の在り方の課題が出されました。そこで、11月14日に、廣報部会全体会を開き、全編集委員の皆様から意見をいたしました。ふれあいの編集にあたり、大勢の皆様からご協力をいただき、ありがとうございました。

だきました。ふれあいの編集にあたり、大勢の皆様からご協力をいただき、ありがとうございました。

退任される民生委員・児童委員及び主任児童委員の声



中央地区子育て支援事業

員が、「何」と受け取った。大蔵住子は、ひろばいのコードイングの急なキヤンセル：それらの対応は、ひろばいのコードイングの急なキヤンセル：そこから、事業団体への書類、特に事業団体への交渉や、役所へ来る事業団体の急なキヤンセル…といふ。それでも方々が満足するといふ。それでも方々が満足するといふ。いつも頭の中に「ほつかな…」と思える。でも苦手なことをやってくる事業団体へ向けて、簡単な材料を使つて、簡単に作つて、おまけにする、子どもたちが、うやん訪問をした。

「主任児童委員を終えて」

中央也々大葛主子

在任期間 4 期

私は、主任児童委員が、「何」かも知らないまま引き受けて、毎

月の子育て事業と赤ちゃん訪問をこなすのに精一杯でした。おまけに子育て事業にお出しする、子ども達への手作りおやつ・簡単に作

れて口あたりのよい材料を使つての素朴なおやつをいつも頭の中で考えていました。それでも来て下さった親子の方々が満足そうに帰つてくださると、「ほつと」次回何にしようかな?と思えました。ただ私がとても苦手なこと、子育て支援事業に来てくだ

ネーターさんの力を借り、やつとの思いで乗り切ることが出来ました。今でも、ひろばの方々、公民館の方々には、とても感謝しております。

これから、主任児童委員をされる方、ぜひ周りの方々の力を借りて、ほどほど楽しく、仕事のような、仕事でないような委員生活に入り込んでみて下さい。

私が民生委員・児童委員として活動を始めた頃は、社会福祉大会を始めいろいろの会議・講演の時は全員参加でした。そんな時は地区で人数に合わせて車何台か出してもらい会場まで車の中で話をしながら楽しく何度も行つたものです。いつも全員参加なので講義・講演を聞き皆一緒に勉強をして、委員としての知識を皆一緒に付けていると思います。その頃介護福祉施設が多く建てられ始めた頃

「長年民生委員として

城東地区 増澤園子

地区増澤園子
在任期間 7期

ネーターさんの力を借り、やつとの思いで乗り切ることが出来ました。今でも、ひろばの方々、公民館の方々には、とても感謝しております。

これから、主任児童委員をされる方、ぜひ周りの方々の力を借りて、ほどほど楽しく、仕事のような、仕事でないような委員生活に入り込んでみて下さい。

活動し思うこと

地区 増澤園子
在任期間 7期

でした。城東地区民生児童委員も県内の施設を多く視察研修させていただきました。今では考えられないことですね。多くの事を学ばせてもらいました。町会での活動は一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯へ月に1回訪問して声がけ話を聞いてあげる事、何か困り事の時には包括さん相談する事にしています。町会では年1回出張ふれあい健康教室と、今年から福祉ひろばで開催している城東シネマに行かれない方々のために、町会公民館において年2回上映会を開催しています。福祉ひろばでは、月1回ふれあい健康教室・歌と体操と10月はサックスの演奏会です。コーディネーターさんが考えてくださっています。浪漫茶房も月1回手作りお菓子をボランティアや民生委員も協力して作つていてます。年に1回秋に行われていた

「15年間の活動を終えて」

松原地区 目黒 弘

早いもので、15年の民生委員、児童委員活動が今年の11月で終ります。いろいろな思い出があり、支え、その間に多くの方と出会い、支え、ていただきました。感謝申しあげます。

当初の一斉改選では、全員が新任委員で、私が会長の大役を引き受けました。以来、委員として各種行事に参加協力し、地域の方々と親睦を図るよう努めてきました。さらに地域のことを知るために、町会の理事会にオブザーバーとして参加させていただくようになり、地域の方の役に立てたときには、方々と信頼関係を築き、困りごとや心配事の相談を受けるようになります。

「ふれあい防災まつり」に替わり、「ふれあい祭りサマーフェスタ」を女鳥羽川緑地帯と福祉ひろばにて開催しました。城東地区民児協定例会の後にお茶飲み会をして親睦を深めています。長い間委員として活動できました事に感謝します。



は満足感や充実感がありました。行事への協力で特に印象に残っているのは、夏祭りのニジマスの掲め取りです。子どもたちが公園のせせらぎでニジマスをつかまえ、その場で焼いて食べるコーナーの担当は大変な仕事ではありました。が、子どもから大人まで皆笑顔になつたやりがいのある楽しい思い出です。幅広い世代が共に楽しめる活動には、地域のつながりを作り、深める力があります。

令和になるとコロナ禍で活動を自粛せざるを得ない時もありました。が、高齢者等の見守り声かけ安否確認で孤立を防ぐ等の日常活動を継続し、各種機関と連携し、安心安全な街づくりをしてきました。民生委員・児童委員は地域の方々と福祉をつなぐ重要な役割だと実感しています。現在、業務の見直しが検討されています。今後も少子高齢化が進む新時代に、福祉ひろばに勤めていたので迷いましたが、地域にいなくてはいけない役だと思い、お引き受けしました。先輩委員や仲間に助けられながらの活動でした。特に、松本地震の時、「私の町会は安否確認が済んだから、仕事代わるからひとまわりしておいで」とかけつけてくれた先輩委員さんには感謝しかありません。

社活動も多様化し、役割は大きく期待されると思います。皆様には、健康に留意されますますのご活躍を期待しております。

「充実の15年間」

第三地区 白井 裕子

在任期間 5期

この度の一斉改選で、5期15年の民生委員・児童委員を辞する事になりました。振り返つてみると、大変な事もあつたはずなのに、楽しかった事ばかりが思い出されます。

私が民生委員の仕事を知ったのは、新卒で就職した時でした。就学援助の必要な家庭状況を話して下さり、困り事を抱えた方に寄り添つている姿に感謝したのを覚えています。

「12年間を振り返って」

第一地区 中原 文子

在任期間 4期

仲間の委員さん達とは、子育て支援事業や児童センターとの交流、地域の赤ちゃんと高齢者まで誰でも参加して頂ける「みつばちかふえ」等で、多くの地域の方に顔を覚えて頂き、色々な場所で声を掛けて頂け嬉しかつたです。これからも地域の一員として、事業に参加したりボランティアとして関わりたいと思っています。



第三地区「みつばちかふえ」

私は民生委員の依頼が来た時、方々と福祉をつなぐ重要な役割だと実感しています。現在、業務の見直しが検討されています。今後も少子高齢化が進む新時代に、福祉ひろばに勤めていたので迷いましたが、地域にいなくてはいけない役だと思い、お引き受けしました。先輩委員や仲間に助けられながらの活動でした。特に、松本地震の時、「私の町会は安否確認が済んだから、仕事代わるからひとまわりしておいで」とかけつけてくれた先輩委員さんには感謝しかありません。

松本歌舞伎で知り合った長野の

小学校の先生のところへ、七夕人形祭りの人形キットを松本城や松本の名所めぐりの地図などと一緒に作つた七夕様人形を持ったクラス全員の写真が送られてきました。顔は七夕様で見えませんでしたが皆で楽しく作っている様子が伝わってきました。心が温かくなりました。

12年という月日はあつという間だつたようにも、長かつたようにも感じます。一緒に過ごした仲間とのかけがえのない時間でした。また私自身が一番多くのことを学ばせていただいたように思います。

子育てや介護、一人暮らしの高齢者の見守り、災害時の対応など思いやりをもつて向き合わないといけません。地域を支える新しい活動がありました。今思えばコロナに見舞われ委員の関わる行事や活動の多くが中止または自粛となり、誰もが普通の生活ができなかつた時は大変でした。あの時不足していたマスクを作り皆さんに配つて大変喜んでいたただいたことを思い出します。

第一地区行事での受付

本当に、お世話をなりました。



第一地区行事での受付

本当に、お世話をなりました。

令和7年度表彰者

【全国】

- ◎社会福祉功労者厚生労働大臣表彰
増澤園子(城東)

- ◎全国社会福祉協議会会長表彰

- 民生委員・児童委員功労表彰
草深邦子(安原) 中澤伸一(芳川) 目黒弘(松原)

- ◎全国民生委員児童委員連合会会長表彰

- 永年勤続単位民生委員児童委員協議会会長表彰
草深邦子(安原) 目黒弘(松原)

- ◎全国民生委員児童委員連合会会長表彰

- 民生委員・児童委員功労者表彰
増澤園子(城東)

- ◎全国民生委員児童委員連合会会長表彰

- 永年勤続民生委員・児童委員表彰
松林廣(第三) 新井ひろこ(里山辺)

- ◎全国民生委員児童委員連合会会長表彰

- 優良民生委員児童委員協議会表彰
鎌田地区民生委員児童委員協議会

【長野県】

- ◎長野県知事表彰(表彰分野・社会福祉功労)
増澤園子(城東)

- ◎長野県社会福祉協議会会长表彰(民生・児童委員功労表彰)
松林廣(第三) 新井ひろこ(里山辺)

全国及び長野県の表彰規程を確認したい方は
松本市役所福祉政策課
0263-34-3227まで

地区活動の紹介



和田地区「思いやりカフェ」9月26日

和田公民館において毎月コーヒーや紅茶を飲んでおしゃべりを楽しんでいます。介護予防にも役立っています。スタンプカードを貯めると日用品がもらえます。



第三地区 子育て支援・おひさまキッズ (毎月第一木曜日) 9月4日 第三地区福祉ひろば

この日は高山裕子先生の「おやこでからだあそび」クラスマックスはバルーンのメリーゴーランド! 子どもも大人もにっこにこ(^_^)



田川地区 子育て支援事業

「たがわチャイルドひろば」9月18日

毎月第3木曜日・会場は田川地区福祉ひろば・おやつ作りとレクリエーション遊びを通してお子さんの健やかな成長と、保護者同士の和やかな交流が得られる場になるよう見守っています。



松南地区「サロン芳野」

6月10日 芳野町公民館

芳野町では、10年以上毎月1回の「サロン芳野」を開催しています。各種ボランティアの方々のご協力をいただき、多くの住民の方と交流、並びに安否確認も兼ねて、楽しいひと時を過ごしています。

全国優良民生委員児童委員協議会表彰

「信頼の輪を更に」

鎌田地区 民生委員児童委員協議会会長 牛山 喜嗣

9月4、5日に第94回全国民生委員児童委員大会（北海道）にて全国優良民生委員児童委員協議会表彰を受賞しました。

期間中、北海道民児協のみなさまの笑顔と明るい声に包まれ心温まる時を過ごしました。緊張の表

彰式の前に、アイヌの舞、ソーラン節の踊りで迎えてくれ、最後は、ステージいっぱいの高校生によるブランダンに希望をいただきながら送つていただきました。大会宣言も発表されました。1日目、講義もあり、2日目は、活動報告会が開かれ、それぞれ取り組んでいたる事例の発表、意見交換が行われました。大変示唆に富む内容でした。鎌田地区も、日頃の見守り活動の中で、多岐にわたる



オレンジカフェかまだ

社を担う一員としての自覚を持ち、日々の活動を通して、さらに信頼の輪を開いていきます。

課題が生じています。かつて、児協による、オレンジカフェの活動開始の例がありますが、これらも大切な課題について、皆で真剣に語り合い、地域の方々に喜んでいただけるものをつくっていきたいと思います。

日頃、民生委員・児童委員として活動していると、地域の皆様からも行政からも民生委員・児童委員へ深い信頼と理解を感じます。多くの先人の皆様さまがつくつてくださいったものです。その方々への感謝の思いも含めて今回表彰を受けました。これからも、地域福祉を担う一員としての自覚を持ち、日々の活動を通して、さらに信頼の輪を開いていきます。



城北地区 ふれ愛祭り（ふれあい広がる一四のわ）城北公民館 9月 24 日

久しぶりに会った知人、ご近所の方との語らい、子供広場ではお姉さんが一緒に遊んでくれて楽しかったと皆さんのが見られました。イベント会場では大勢の方にお越しいただき楽しんでおられました。



白板地区（放光寺町会）

7月18日、放光寺公民館で開催された「出前ふれあい健康教室 & 第41回茶話会」で、「信州大学看護学専攻」教育実習生からフレイル予防などを学びました。



四賀地区

3年間で、4回、民生委員児童委員通信（全戸配布）を発行しました。地区的皆様に活動内容を知ってもらい、委員の顔を覚えていただき、大好評でした。



寿地区 ハートラインまつり 10月 4 日

今の時代近所の声掛けが徐々に少なくなり、助けを言葉として表現できない現実があります。そのため、民生委員が地域行事に参加することでSOSの言葉の発信ができやすい環境下を作る様に働きかけることがベストと思いました。多様な個性を持つ人々が住み慣れた地域のなかで不安なく安心して暮らしていく、生活を維持でき心が安定できるような橋渡しをすることが役割だと思っています。

第26回長野県民生委員児童委員大会

中山地区民生委員・児童委員協議会会長 百瀬 佳典

6月28・29日、諏訪市文化センターに延べ約1500人の参加者を迎えて、首記大会が開催されました。

初日は、御諏訪太鼓保存会による力強い太鼓が始まり、式典と記念講演が行われました。

記念講演は「認知症への対応を考える」支え合う住みよい社会のために」と題し、富士見高原医療福祉センター統括院長の高木宏明氏よりご講演いただきました。

講師自ら演奏用マイクのセッティングを行い、講演ではギターを弾きながらの歌も交え、「認知」とは高次の脳の働きであることや、誰にでも「認知作業の失敗」があることをわかりやすくご説明いただきました。参加者は、「認知作業の失敗」をしたときの心理を理解することで、認知症の方がどのように感じているのか、どのように対応するのが良いのかを自ら想像し、考えることができました。

「認知症になつても大丈夫」と言い合えるまちを目指そうと感じました。2日目は活動実践発表から始まりま

した。松本市民生委員・児童委員協議会の草深邦子会長の司会進行のもと、「地域における福祉課題への民生児童委員の取り組み」をテーマとして、次発表が行われました。

「子どもや子育て家庭への切れ目ない支援をすすめるために」(安曇野市民児協)

「災害時における民生委員児童委員の取り組み」(佐久市民児協)

「高齢者への見守り支援活動」
(諏訪市民児協)

いずれも発表者の熱意と行動力に勇気づけられ、自身の活動を振り返り、今後につなげる良い機会となりました。

93号から95号までのふれあいのテーマを「支えあう住みよい社会地域から一斉改選に向けて」とし、ふれあいのテーマを選に向けた」とし、編集を行つてまいりました。

本95号では退任される委員の皆さんのが、や、地区活動の様子のわかる写真などを掲載しております。特に新しく委員になる皆さん、の活動の参考になれば幸いです。

(T・S)



編集後記

いよいよ民生委員・

児童委員の一斉改選となり、12月からは新たな任期が始まつて行きます。



松本市民生委員・児童委員協議会だより
「ふれあい」バックナンバーはこちら

<https://www.city.matsumoto.nagano.jp/soshiki/60/165159.html>



皆様からのご意見・ご感想をお待ちしております。
取り上げてほしいテーマなどがございましたら事務局までお知らせください。
TEL(38)7671 / FAX(34)0180 mail:hokubu-chiiki@syakyo-matsumoto.or.jp